

ココでの対策は2つあります。

①はコロナ撲滅です。

②はペリカンクラブに入っておられる方で、稲盛和夫さんの盛和塾に入っておられる方もいるものと思います。

稲盛さんが仰られている「売上最大・経費最小」を実行することです。

①は最も大切です。このコロナ対策を政府が6週間でやり切れば、経済は再開します。やり切らなければ、だらだらと経済封鎖が続きます。

私の会社でも、営業員が東京・大阪にいます。この人たちにはテレワークにしました。しかしテレワークでは売り上げは上がりません。しかし、コロナ対策に協力することの方が重要です。かなり厳しい経済封鎖でコロナが撲滅するのと、だらだらとコロナ対策が行われる経済対策では、

最初に厳しい経済対策を取りコロナを撲滅する方が、私たち経済人にとっては良いことだと思います。このことを、ペリカンクラブの皆様が、政府に要望することです。

私も静岡の代議士に伝えています。

②は当たり前のことです。しかし、とても大変なことです。

簡単に行く事ではありません。別の言葉で言うと「売り上げをできるだけ上げて、出るものを最小にする」になります。出るものを制するためにはどうするかです。

これも大変ですが、兎に角、収入表と支出表をにらめっこして、コントロールを入れることだけだと思います。このことをするためにも、政府にコロナ感染を最短にしてもらわなければなりません。

私はきつい経済封鎖は容認します。飲食関係の方でも、きつい経済封鎖に協力して、6週間後に再開できればその方が良いものと思います。個人的には東京の山手線や東京の地下鉄は6週間止めていただきたいと思います。私たちの会社も、飲食はあります。

今、いろんなことが大変でも、6週間後に再開できれば問題は少なくなります。

小柳津清一商店

小柳津正男

